

2024年度 難病の子どもと家族の交流イベント 報告書

行 事 名	ふれあいまつり IN うりずん 2024
日 時	令和6年 10月 13日 (日) 11:00~15:10
場 所	認定特定非営利活動法人 うりずん 敷地内 (館内・館外)
行事内容報告	<p>【内容】</p> <p>1. 舞台発表</p> <p>11:00~ 開会式</p> <p>11:15~ 晃陽中学校吹奏楽部様</p> <p>11:45~ うちやりばたいむ (うちやりばちょ〜で〜会)</p> <p>12:15~ 参加団体紹介</p> <p>12:30~ 荒馬座様</p> <p>13:20~ 晴れの日☀JUHO オケ</p> <p>13:50~ 仮装で愛♡を叫ぼう!</p> <p>14:20~ うりずんバンド</p> <p>14:50~ 閉会式</p> <p>2. 館内イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハンドメイド品販売 (アンマー工房) ・情報共有コーナー (めんそーれ) ・ポッチャボールであそぼう ・フェイスペイント (たまちゃん) ・なりきりかぶりものコーナー <p>3. 県内事業紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定非営利活動法人 そらいろコアラ 様 ・特定非営利活動法人 マロニエハウス会 様 ・特定非営利活動法人 障がい者福祉推進ネット ちえのわ 様 ・一般社団法人 Burano 様 ・一般社団法人 栃木県若年者支援機構 様 ・宇都宮大学障がい児支援サークル NOBA 様 <p>4. 屋外遊びコーナー/模擬店</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水ふうせんすくい ・ポップコーン/わたあめ/フランクフルト ・焼きそば/おにぎり/サーターアンダギー/からあげ <p>5. 販売ブース</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パン販売 (KONOMI 様) ・ピザ販売 (Wildkitchen Kumakuma 様) ・やさい販売 (しのいの郷様)

<p>行事内容報告</p>	<p>【参加人数】： 総数 478名 利用者様・ご家族様：216名 一般来場者：124名 出演者：24名 来賓：2名 招待団体：6団体 参加団体：28名 音響スタッフ：3名 ボランティア：35名 出店スタッフ：7名 スタッフ： 33名</p> <p>【決算内容：(詳細は別紙決算書参照)】 予算額： 1,090,000円 決算額： 1,131,007円</p>
<p>感想及び 活用方法 検討事項など (詳細は、ス タッフアンケ ートまとめ等 参照)</p>	<p>【全体として】 今年は5年ぶりの一般開放。日本歯科医師会様と日本財団様のチャリティプロジェクト「TOOTH FAIRY」事業の支援を受けて実施され、多くの企業・参加団体・ボランティアの皆様のご協力のもと盛大に開催された。地域の方々との交流も再開した。昨年度に引き続き10月開催だったが、好天に恵まれ季節外れの暑さを感じた。 一般開放に向けて、屋内外にフリーの看護師を配置し、ご利用者様への配慮を強化した。また来場者の流れを良くするため、テントの配置の見直しや動線の確保を実施した。 今年度からミーティングに管理者が参加した。おまつりの経緯や趣旨、各担当の進捗状況の把握や決定事項を総合的に判断していただくことでスムーズに運営できた。</p> <p>【受付・ボランティア関係】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・模擬店のボランティアさんがふれあいまつりの様子が分からなかった。 →ボランティアの人数を増やすことも検討するが、交代をするながれや模擬店スペースにもイベントの雰囲気を感じられるような工夫が必要と感じた。 ・今年度も「無料では申し訳ない」という声が聞かれた。お気持ちを募金でお願いしたく募金箱の設置場所を増やしたい。募金額UPも図りたい。 ・駐車場のボランティアは例年日本調剤様のご厚意で担ってくださっている。今年度は(株)友成会(千葉市)の方も駐車場誘導に携わってくださり、慣れた動きでスムーズに誘導されていた。今後もスタッフや他のボランティアが休憩交代で入る事でそのノウハウを共有していきたい。 <p>【屋外・模擬店】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステージイベントと模擬店の場所が分かれていた為、わかりやすかった。模擬店(食券使用)テント横にスピーカーをお試しで設置した。来年検討する。 ・ステージの位置を大幅に東へ移動した。どの方向からもよく見ることができた。 ・ひばりクリニック東側との境界からデッキに上がるスロープまでの動線を表示するために、スズランテープとカラーコーンを使用した。もっと良い方法はないか、またテントの配置も含めて動線の位置を再検討してみる。 ・飲み物は、クマクマさんからのドリンク販売もあって、ほぼ足りていたようだ。ただ自動販売機は前日に補充して頂いたが、当日午後には品切れの商品が出始め、列ができていた。釣銭不足もあった。 ・食数はちょうど良かった。(14時におにぎり完売・15時で全商品完売) ・炭火焼きのフランクフルト好評だった。来年度はコンロを前面に出して「炭火焼き」をアピールする。また解凍するのが大変だった。(重ねて冷蔵庫に入れたため、解凍されなかった)前日に一度自然解凍してから、冷蔵庫にいれておくとうい。 ・移動販売にしてほしい。→できれば買いに来て欲しい。売れ残りのものはいい…。 ・ポップコーンの機械が小さかった。大きい機械を借りると有料(10,000円くらい)かかる。来年度は模擬店の内容を再検討。

・模擬店スペースにキッチンカーを増やす…（焼き芋、クレープ等）それに伴い模擬店スペースにも飲食用のテントを設置するか？（テント1個+10,000円）

【ステージイベント】

- ・大きさはちょうどよかった。来年もこのままで良いのでは…
- ・スロープを正面に設置したらどうか。隣に音響テントがあり、横からのアプローチが狭かった。
- ・来年度は観覧席テントを0.5m程前に出し、テント後方に日陰のスペースを広げる。
- ・椅子が足りなかった。ひばりクリニックの西側建物沿いの日陰に直に座っている方がいた。模擬店スペース分にも必要。100脚→150脚にするか？
- ・晃陽中学校吹奏楽部のステージが良かった。顧問の先生から指揮者体験のご提案をいただき参加型で楽しめた。より地域とのつながりを感じることができた。
- ・ステージの様子を撮影している人がいた。アナウンス方法を要検討。司会だけでなく、屋外フリーにアナウンスしてもらうことも検討。
- ・重訪スタッフと段取りなどの打ち合わせが不十分であったと感じた。
- ・音楽が多いと間延びしそう…。各支援の発表の場を設けるのはどうか…。

【屋内】

- ・デッキから直接入る人も多く、正面入り口が混みあうことはなく、屋内展示ブースの流れも良かった。
- ・フェイスペイント（たまちゃん）の担当がいなかった。急遽1人になったため、休憩が取れなかった。担当を付け休憩を促す。時間で休憩中にするなど検討。
- ・チャリティー工房の作品は、ご家族様やスタッフに早めに声かけし準備する。
- ・支援室でワークショップを行わなかったため、休憩スペースがある程度確保できた。支援スペースを全て観客席にしても良いのではと意見あり。
- ・情報コーナーの内容をWebでみたいとの意見があった。しばらく展示を残しておくのも良いかも…。企画は継続していきたい。
- ・今年も屋内にスピーカーを設置したが、音は聞こえやすかった。

【学生ボランティア】

今年度は中学生2名、専門学校生1名、大学生10名の参加があり、ご利用者様、ご家族様とのコミュニケーションも上手にとられ「楽しかった」「学ぶことが多かった」等の感想をいただいた。終了後活動証明書を発行した。

【来年に向けて】

- ・今年度の決算を考慮し、来年度も早めに見積もりを依頼し予算を把握するようにしたい。また地域を取り込む工夫をしていきたい。地域の方にも参加してもらうことは、地域に開かれた施設として認識していただく良いチャンスだと思う。普段から地域のイベントに参加し、交流を図ることの必要性を感じる。地域の方がふらっと芝生の庭に立ち寄ることやバザーやマルシェを企画し参加していただくのも有効と考える。

担当者名

須藤 裕美
澁川 陽未
若井田 美智子
小島 麻紀
高橋 陽子